



恐怖の大予言

2015



著: 預言者Aster
表紙: e-bookdesign

現在先進国で多くの支持を集めているキリスト教に対する人民の支持の根拠となるものは、聖書に拠るものでは全く無く、ましてや聖職者の人徳に拠るものでは断じて無く、唯一教会から施されるパンのみに拠るものである。

そもそも人民にとっては聖書などというものは苦痛以外の何者でもなく、そのような苦行、損行を敢えて耐え忍ぶのは、パンによる施しという理由以外に無い。

その為、キリスト教教会は実に多くのパンを必要とし、常に慢性的な財源不足を抱えることになり、その財源不足は善意の寄付で賄える量では到底無く、必ず外部への侵略と略奪を必要とすることになる。

よって、何らかの原因により、外部からの略奪が出来なくなれば、施しのパンが不足することになり、人々はこれに激しく怒り狂い、キリスト教教会への支持、権力は全て水泡に帰すことにはなるのは間違いない。

そして、全員が略奪をする側には成れない故、必ずキリスト教には敵対勢力、それも決して少なくない敵対勢力が存在し、どんなに上手く支配を行おうが、軍事権力は時間と共に模倣され「必要とする所」に分散されるものなので、キリスト教の支配体制の崩壊はいつかは必ず起こるものである。

つまり、先進国は滅亡する。